セミの抜け殻調査報告書2010

調査者(団体)名：　　担当：田中　のぶ子

調査実施場所：　青森市公立大学駐車場緑地帯

住所：青森市合子沢山崎154－3

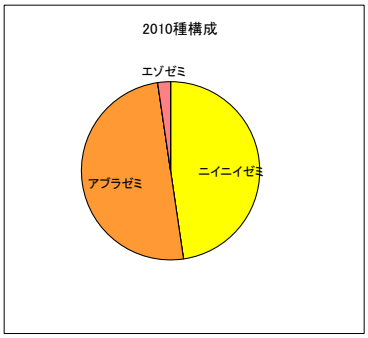
調査場所の環境：

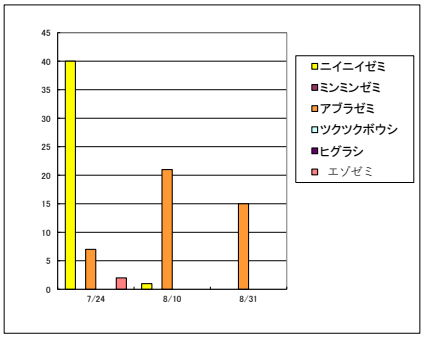
	クリックして選択
周辺の環境	平地
調査場所の様子	その他(
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉

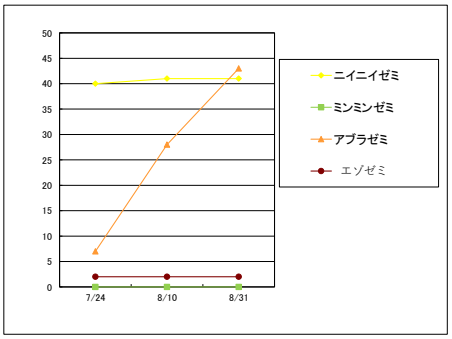
調査結果：　部分は自動計算されますので入力しないでください。　ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要(任意で入力できます)

調査日	7/24					8/10					8/31					計			
調査時間	15：00　～　17：00					15：00　～　17：00					15：00　～　17：00								
調査参加人数	1					1					1								
天気																			
	声	♂	♀	不明	計	声	♂	♀	不明	計	声	♂	♀	不明	計	♂	♀	不明	計
ニイニイゼミ				40	40				1	1				0	0	0	0	41	41
ミンミンゼミ					0					0					0	0	0	0	0
アブラゼミ		7	0		7		9	11	1	21		9	6		15	25	17	1	43
ツクツクボウシ					0					0					0	0	0	0	0
ヒグラシ					0					0					0	0	0	0	0
エゾゼミ		1	1		2		0	0		0		0	0		0	1	1	0	2
					0					0					0	0	0	0	0
					0					0					0	0	0	0	0
不明					0		1	1		0					0	1	1	0	2
計		8	1	40	49		9	11	2	22		9	6	0	15	27	19	42	88

気づいたこと・感想など：　(A・Bサイトを合計して集計)
①Aサイトはメタセコイア多数で下草もある。Bサイトはアカマツ林で下草は刈り取られて隠れる場所がない。
②Bサイトからは動物のペレット採取。セミの残骸が含まれている。
③メタセコイアの葉の裏、幹からアブラゼミ多数採取。他の木は余り見かけない。







セミの抜け殻調査報告書2012

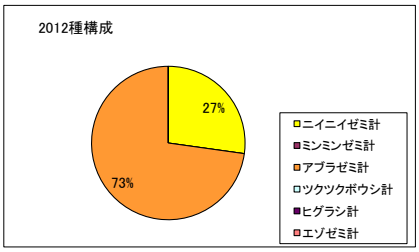
列や行は削除はしないでください。

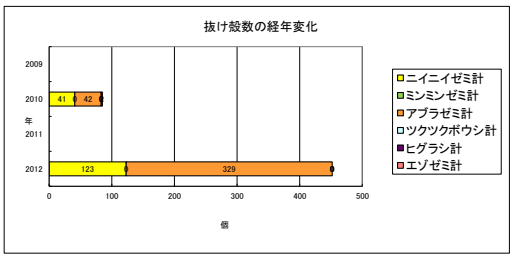
年度	2012
都道府県名	青森県
調査地名	青森市合子沢山崎１５４－３
サイト名	青森公立大学園内緑地帯
周辺の環境	里・丘陵
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主担当者	田中のぶ子
再検者	田中のぶ子

主担当者連絡先	
住所	
電話番号	
E-mail	

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ツクツクボウシ　ミンミンゼミ
調査地の主な樹木	ヤマボウシ　カラマツ　メタセコイア　ブナ　アカマツ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人（１人）　中学生　小学生　幼児

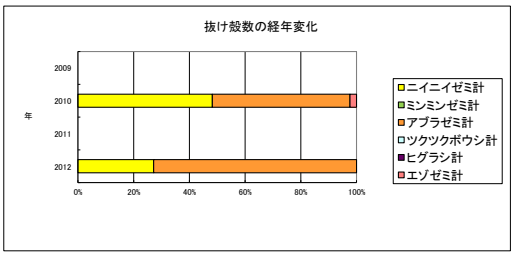
種	♂♀	8/4	8/5	8/6		8/21	8/22	8/23		8/30	8/31	9/1	計
ニイニイゼミ	不明	0	107	0		0	9				7	0	123
ニイニイゼミ	♂	0	0	0		0	0	0			0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0		0	0	0			0	0	0
ニイニイゼミ	計	0	107	0		0	9			0	7	0	123
ミンミンゼミ	不明	0	0	0		0	0	0			0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0		0	0	0			0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0		0	0	0			0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0
アブラゼミ	不明	0		0		0	0	0			0	0	0
アブラゼミ	♂		24	0		0	51	0			43	0	118
アブラゼミ	♀		10				106	0			95	0	211
アブラゼミ	計		34				157	0		0	138	0	329
ツクツクボウシ	不明	0	0	0		0	0	0			0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0		0	0	0			0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0		0	0	0			0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0		0	0	0			0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0		0	0	0			0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0		0	0	0			0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0		0	0	0			0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0		0	0	0			0	0	0
クマゼミ	♀		0	0		0	0	0			0	0	0
クマゼミ	計		0	0		0	0	0		0	0	0	0
	合計		141				170				145		452





	2012	2011	2010
ニイニイゼミ計	123		41
ミンミンゼミ計	0		0
アブラゼミ計	329		42
ツクツクボウシ計	0		0
ヒグラシ計	0		0
エゾゼミ計	0		2
#REF!			
総計	452		85

2010年に初めて参加。抜け殻採取になれていなかった。2011年休調不良で休み。2012年は7月は低温が続き梅雨明け27日からは気温が上昇、残暑も厳しく30度を超える日が続いた。
採取時間は午後3時～午後6時までの間。標高120mの冷涼な気候の場所です。
ニイニイゼミはダグラスファーツリー、メタセコイア等の幹に多く殆どは地上150cm以下で採取。湿った日陰の幹で採取、他の種類は風通しの良い場所で多数採取。
今年は低位置での採取が殆どといっても良い。また8月末にニイニイゼミの採取は無かったのだが今年はまだ採取できていた。アブラゼミ採取が大半だが♀殻が大変多い。
比較的安定した環境なので気候の変化等に調達しているのでしょうか？
他サイトで採取した殻も低位置での採取が多かった。低位置というのは10cmくらいの下草のことですが葉裏のみならず目だって隠われそうな場所での羽化もあったのではないかと思われた。



セミの抜け殻調査報告書2015

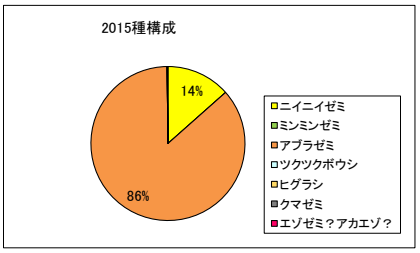
部分を入力　　ニイニイゼミの♂♀識別は不要（任意で入力できます）　　プルダウンから選択　　部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

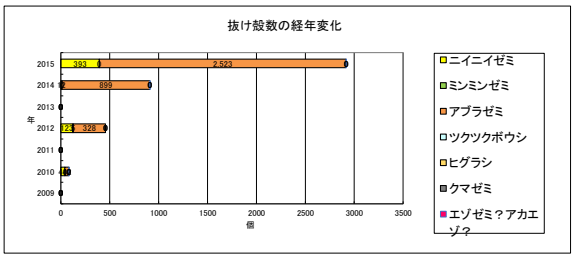
列や行は削除はしないでください。

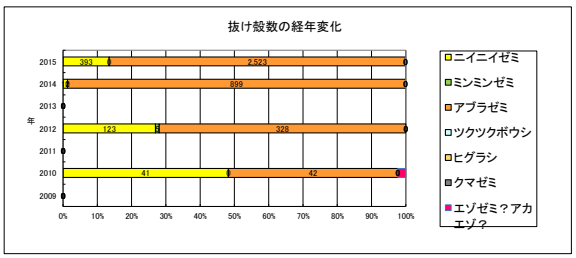
年度	2015
都道府県名	青森県
調査地名	青森市合子沢山崎１５４－３
サイト名	青森公立大学駐車場緑地帯Aサイト標高１２０ｍ
周辺の環境	里・丘陵
調査場所の様子	その他（　　）
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主担当者	田中のぶ子
再検者	なし

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ヒグラシ
調査地の主な樹木	カラマツ　トドマツ　コブシ　クワ　ユキヤナギ
調査地関連HP	なし
調査参加者数	大人２幼児１　計３名（７月３０日のみ）他は１名

種	♂♀	7/13	7/30	8/13	8/28	/	/	/	/	/	/	計
ニイニイゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	69	284	24	16	0	0	0	0	0	0	393
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	0	492	511	354	0	0	0	0	0	0	1,357
アブラゼミ	♀	0	229	526	411	0	0	0	0	0	0	1,166
アブラゼミ	計	0	721	1,037	765	0	0	0	0	0	0	2,523
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エゾゼミ？アカエゾ？	不明	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
エゾゼミ？アカエゾ？	♂	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
エゾゼミ？アカエゾ？	♀	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
エゾゼミ？アカエゾ？	計	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	合計	70	1,008	1,062	781	0	0	0	0	0	0	2,921







集計表

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
ニイニイゼミ	0	41	0	123	0	12	393
ミンミンゼミ	0	0	0	5	0	0	0
アブラゼミ	0	42	0	328	0	899	2,523
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0
エゾゼミ？アカエゾ？	0	2	0	0	0	1	5
総計	0	85	0	456	0	912	2,921

コメント：(改行：ALT+ENTER)
２０１０年スタート、同地区のABサイト。採取不慣れにより採取数が少ないと思われました。
２０１１年と２０１３年は体調不良で断念しました。
２０１４年からAサイトのみで採集することに決めました（スタート時からBサイトでは殆ど採集出来なかったため）
２０１５年に採集数が大幅に増えたのは３日→４日に変更したこと、採集人が増えたことによると思われます。

訂正
２０１０年時、樹種をメタセコイアとダグラスファーと記録していますがAサイトの主たる樹種は多い順からカラマツ、トドマツ、が大半を占め、その他はコブシ、クワ、ユキヤナギとなります。

７月８日頃からニイニイの声が聞こえ始めました。７月１８日頃からアブラの声が聞こえ始めて末頃にはアブラが優勢。夕方からはヒグラシの声が混じり、時折合間を縫ってエゾゼミらしき声がきこえます。ミンミンは今回あまり気がつきませんでした。今夏、ニイニイは中旬～下旬まで採取できたので発生時期が延長したのだろうか？と感じています。今夏、７月８月は気温の高い日が続き少雨でした。